

同 内科 久場睦夫

大宜見辰雄, 大城盛夫

過去6年間に肺癌と他臓器重複癌4例を経験した。男性2例, 女性2例, 平均年齢63才, いづれも肺癌を第一癌とし, 第二癌は胃癌, 食道癌, 乳癌, 膀胱癌各1例であった。同時発生2例, 異時発生2例であり, 同時および異時発生の各1例が第二癌治療後健在である。

#### 15. 肺癌の脳転移例の検討

九州がんセンター呼吸器外科

田中康一, 石松豊洋, 宮崎一博  
一瀬幸人, 野下貞寿, 原 信之  
大田満夫

同 放射線科

奏 一雄, 松井正典

肺癌の脳転移の臨床像及び脳照射の効果につき検討した。組織型別では腺癌が最も多かった。また脳照射により自覚症及びCT所見でも著明な改善が認められ, 40Gy以上の脳照射症例では中間生存期間8ヶ月であった。

#### 16. 肺癌手術症例におけるCEAの検討

長崎大学第1外科

田川 泰, 成松元治, 君野孝二  
高田俊夫, 江口正明, 石橋経久  
中尾 丞, 川原克信, 綾部公認  
中村 譲, 富田正雄

肺癌58例を対象に, 血中CEAを測定し, 50%の陽性率を得た。今回は進行度, 組織型, 根治度, 経時的測定例を検討した。尚19例の肺癌組織CEAを測定し, 血中CEAと比較するに, 相関関係がみられた。

#### 17. 血中CEA値1000ng/ml以上を示した原発性肺癌3症例の臨床的検討

国立療養所南九州病院

福永秀智, 園田俊秀, 乗松克政  
CEAの測定法は, Z-Gel法によった。

症例1, 59才男性, 低分化腺癌, T<sub>2</sub>N<sub>2</sub>M<sub>0</sub>, CEA1400ng/ml, 治療により76ng/mlまで低下し, 9ヶ月生存中。症例2, 52才男性, 腺癌, T<sub>3</sub>N<sub>2</sub>M<sub>1</sub>, CEAは血中2300ng/ml, 左胸水3000ng/ml, 右胸水1800ng/mlで2ヶ月で死亡。症例3, 70才男性, 低分化腺癌, T<sub>3</sub>N<sub>2</sub>M<sub>1</sub>, 血中CEA1200ng/ml, 3ヶ月で死亡。

#### 18. 肺癌症例を対象とした, 新しいキットによるCEA測定福岡大学第2外科

荒木康雄, 白日高歩

CEAは, 肺癌でも異常値を示すことが多く, 臨床上, 癌の進展・再発の判断に重要な指標となる。私達は, 肺癌患者34名に対し, 最近, 福岡大学生化学教室で開発された「キット第一」を利用してCEA値を測定し, ロッシュのキットによる測定値と比較したが, 低値レベルでよく相関していた。

#### 19. Benign clear cell tumor of the lung の1例

国立大分病院呼吸器科

桑原哲郎, 宮崎泰弘, 福島 純  
甲斐隆義

検診で胸部異常陰影を指摘された36才の男性を良性腫瘍と考え核出術施行したところ, benign clear cell tumor of the lungであった。本腫瘍は1963年Liebowらの報告以来, 1979年までに文献上報告されているものは16例にすぎず, 珍しいものであり, 病理組織学的検討を加え報告した。

#### 20. 気管腫瘍の1手術例

産業医科大学第2外科

徳永裕之, 永田真人  
小田桐重遠, 川原英之

村上 勝, 石倉義弥, 吉松 博  
27才女性で気管原発のAcissic cell carcinomaを経験した。来院

時気道狭窄のため高度の呼吸困難状態で, 緊急的に気管支鏡下で切除すると同時に5軟骨輪にわたり気管を切除した上で端々吻合を行った。リンパ節転移はなく, 4ヶ月経った現在経過は良好である。

#### 21. 高アミラーゼ血症を伴った肺癌の1症例

大分県立病院胸部外科

河部英明, 内山貴堯, 南 寛行  
永吉健介

同 病理

辻 浩一

大分医科大学

葉玉哲生

肺癌患者で高アミラーゼ血症をきたした症例を経験した。51才, 男性, 組織診断はwell differentiated adenocarcinomaで, 血清アミラーゼは最高17400somogi単位であった。腫瘍組織内アミラーゼは25000somogi単位と高値で, 蛍光法, 電顕にて細胞内アミラーゼ局在を証明した。

#### 22. 多数の腫瘍マーカーを産生した肺小細胞性未分化癌の1例

熊本大学第1内科

川田明広, 深井祐治, 島津和泰  
福永 淳, 青木隆幸, 菅 守隆  
杉本峯晴, 安藤正幸, 荒木淑郎  
症例は57才女性, 肺小細胞性未分化癌において, ADH, Calcitonin, Serotonin, CEAの血中上昇を認め, ADHを除いた3者は, 治療経過とよく相関した。血中ADHは水負荷試験にて, 無症候ながら, SIADHと同様のパターンを示した。

#### 23. 最近経験した気管支内腫瘍の3切除例

国立療養所南九州病院外科

山王邦博, 入来敦久, 江川勝士  
同 内科

福永秀智, 宮田義彦, 乗松克政  
症例1: 52才男性, 右B<sub>2</sub>に発生した気管支内過誤腫に対して